

男鹿潟上南秋 医師会報

77号

平成27年7月27日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>

〒010-0201 秋田県潟上市天王字上江川47 ☎ (018)878-6028 FAX (018)878-2517



目次

特集 夢のバカンス	2	● 新人紹介	14
・ 長い休み 笹尾 知	2	● 生涯教育講座	16
・ 夢のバカンス計画 齊藤朋紀	3	福井 伸 先生／下斗米孝之 先生	
・ 酒飲みは内視鏡検査を 浅利正雄	4	● ワンポイントアドバイス⑩ 松本敏江	18
・ 「新任理事挨拶」 吉田賢志	5	● ふんふんコラム	19
・ 7月だ！ バカンスだ！ 佐々木康雄	6	● 私のおすすめ 斎藤晴樹	20
・ 「いい加減にしねえか、悪党ども」 大窪天三幸	7	● 今日の診察室から㉗ 加藤一磨	21
・ 日光から、こんにちは？ ～男鹿みなと病院 夢のウルトラ医局旅行～ 秋元正年	9	● たき火を継がむ前に 終わりに ～井上修一先生のこと～ 佐々木康雄	23
● 私の苦手な患者さま 肥田野文夫	11	● ナイトキャップ	24
● 理事会	12	● 編集後記	25
● 定例総会	13	● 表紙説明	26

特集

夢のバカンス(長期休暇)

夢のまた夢……



長い休み

笹尾医院(五城目町)

笹尾 知

開業医は休もうと思えば本日
休診の札をかけて玄関の錠をお
ろしておけば、何日でも勝手に
休むことができる。しかし、た
った1人でやっている仕事だか
らあまり休んでいては、飯の食
い上げになってしまうので、病
気でもない限りは、ひと月も
続けて休むのは無理なことであ
る。

大学生の頃は、夏休みは7月
10日頃から9月10日頃まであり、
暇はあっても金のない時代だっ
たから家でゴロゴロしているこ

とが多かった。親父の本棚から
いろいろな本を引っ張り出して
寝転がって読んでいた。なか
にはエロ本もあったが父は何にも
言わなかった。性教育のつもり
だったのかもしれない。

お寺にでも修行に行けばよか
ったと思うときもある。

私の人生で一番長かった休み
は、小学校6年生の夏休み中に
戦争が終わった時から、まる1
年学校に行かなかったことであ
る。

その頃、私の父は満鉄の病院

長をしていて鐵嶺^{てつりや}という所に
いた。終戦が近い時、突然ソビエ
トロシア軍が満州に侵入して来
た。対ロシア軍のため強化され
ていた関東軍は南方に派遣され
ていて、抵抗らしい事はできず
偉い人達は真つ先に日本に逃げ
てしまった。母親は病気だった
し、病院長だった父も逃げ出す
わけにはいかず、子供達だけで
朝鮮に避難する汽車に乗るはず
だったその日に、天皇陛下の終
戦の詔勅がラジオ放送されたの
である。避難は中止になってし
まい助かった。

もし汽車に乗っていたら運が
よくて残留孤児、悪ければ野た
れ死にだっただろう。夏休みだ
った学校は始まらなかった。翌
年の夏引き揚げてきて、五城目
小学校の6年生に入り直すまで
1年間の休みになってしまった。

この休みの間に母親の死を始
め、その後の私の人生に大きな
影響を及ぼした出来事を経験し
た。それが私にとって良かった
のか悪かったのか今になっても
判らない。五城目小学校の6年
生にはいった時、私についたあ

だ名は「おど」(親父の意)だっ
た。ふけて見えたのかもしれない。
い。

日露戦争のあと日本はロシア
が作った満州の鉄道の権益を手
に入れた。近代化に乗り遅れて
いた当時の中国はそれに抵抗で
きず、日本のなすがまになっ
てしまった。中国の抵抗勢力か
らその鉄道や付随して拡大して
いった日本資本による産業を守
り、又ソビエトロシアに対抗す
るため日本陸軍は満州に兵力を
拡大した。関東軍と呼ばれた軍
は当時の内閣の統制が及びにく
かったと思われる。中国側の抵
抗勢力は匪族^{ひぞく}と呼ばれた。

匪族討伐と称して満州事変を
起こし、張作霖^{さくしん}を暗殺、傀儡^{かいらい}国
家満州国を作って日本の支配下
に置こうとした。それが日中戦
争の原因となり、太平洋戦争に
突入して敗戦、そして私の小学
生時代の長い休みにつながって
しまったのである。我々の世代
は混迷の昭和時代を生きて来た。
戦時中は小学生でも天皇陛下
のために死ねといわれた。もう
何年か戦争が続いていれば特攻

隊になっていたかもしれない。おかげさに言えば我々子供も、時代の荒波に翻弄されたのだ。

満鉄病院長の社宅は広くて立派なものだった。北満から逃げてきた人達が何所帯も同居する事になった。軍人もいた。満州国軍の日本人将校などである。子供心にもこんな人が兵隊では戦争に負けるのは当たり前だと思ふような人もいた。

最初にやってきたのはロシア軍で、略奪暴行をつくした。若い女性達は暴行を逃れるため、髪を切つて丸坊主になり軍服を着たりしていたが、子供の目で

見ても男には見えなかったの、あまり役にはたたなかったと考えられる。ロシア軍は日本人が造つた大規模な製鉄所の機械などいろいろの物資を奪い、大勢の日本兵を捕虜としてシベリアに連れていき酷寒の中でこき使

つた。明らかな国際法違反だったが、ロシアはほっかむりしたままだ。

中国における日本軍の戦いもやはり侵略だった。

戦闘の舞台となつたのは中国大陸で、大勢の一般人が犠牲となつた。なぜあんなに広い中国大陸の奥地まで攻めて行かねば

ならなかったのか考えてみても判らない。その結果が私の生涯のなかの一番長い休みの日々につながつたので、個人の運命は国の政策に支配されていることがわかる。

医者になつてからは長い休みはとつたことはない。いつどうなるか判らない

特養の高齢入所者を抱えている立場では、盆正月で休んでいても呼び出しがくるのである。携帯電話器は悪い



雲昌寺の紫陽花（男鹿市北浦）

発明だ。

もし長い休みがとれたら車で全国一周してみたいというのが夢だったけれど、運転免許更新の度ごとに認知症のテストを受けねばならぬ身では、見果てぬ夢というところです。

夢のバカンス計画

「じょうめ眼科クリニック（五城目町）」

齊藤 朋紀

長期休暇、1ヵ月ですか…。勤務の先生方はもとより、「1人院長」の開業医の身では夢想到に近いレベルの事ですが、それ

でも具体的に、暑い季節と寒い季節の2バージョンで希望したいと思います。

まず夏ですが、妻と一緒に、大

師様と同行で四国八十八ヵ所巡礼の歩き遍路の通し打ち（区切らずに一気に廻りきることに挑戦したいと思います。個人的には既存宗教、新興宗教、一切興味なし。ですが、お遍路さんだけはどこか惹かれるものがありますね。定番は菅笠・輪袈裟・白衣・金剛杖のいでたちですが、足元はナイキやニューバランスのいくらでも歩けるシュ

ーズで（色彩はおとなしめのもの）をチョイス。杖も京都の専門店「つえ屋」で軽くて使い易いものをセレクトしたいです。

旅の楽しみとしては、四国各地の温泉めぐりも兼ね、名物としては、阿波の鯛めしや、土佐のかつおの薫焼き、伊予の丸ずし、もちろん讃岐うどんは必食で何軒かはしごたいです。まあ、遍路をしても人間はそう変



2人の息子と

わるものではないでしょうが、少しは心が安んじて、仏心のかけらでも萌芽すればもうけもの。といったところでしようか…。1度目が無事成功したなら、逆打ち（札所八十八番目からスタートする）にもチャレンジしたいです（大好きな自転車で）。次に冬ですが、沖縄本島&八重山諸島をMTB・ロード（自転車の種別）でしっかりと・じっくりと乗り込みたいですね。秋田だと、寒がりの私は大体4、9月の正味で5、6ヵ月しか乗れません。しかも最近 は地元の

植生が合わないのか、アレルギー1症状がひどくて、長時間乗り込むのがおっくうになりつつあります。沖縄であれば冬でも悠々自転車で乗れますし、植生も違うでしょうから、アレルゲンからも一時回避できるかもしれないという期待込みで…。

自転車乗りは、圧倒的にロードサイクル（見た目華奢で、かがみ姿勢で乗る高速タイプ）派が多数ですが、わたしはMTB（マウンテンバイク）が好みです。スピードは20km毎時がせいぜいで、負荷も格段かかるのですが、悪路・段差での安定度、パンクに強いなど長所も多い自転車です。

MTBでゆつくり、沖縄そば（らふてー・そーき。どっちも好物）、定食屋のちゃんぶるー（ゴーヤ、ソーミン、フー。炒める人が上手だと抜群に美味い）、中身汁、島らっきよの塩漬け、ふたが閉まらない大盛り弁当、アメリカ南部の豆料理、タコス等、B級（？）ながらも美味しいグルメを存分に堪能したいですね。もちろん、本土以上に車の多

い沖縄のコト、米軍車輛、交通事故には充分気をつけなければいけません…。

以上が、わたしの1ヵ月バカンス計画（夢想）です。書いたら、ホントにやりたくなってきました。ま、いつになるやら、できるやら？ といったところですが…。



酒飲みは内視鏡検査を

浅利整形外科医院（八郎潟町）

浅利 正雄

今回のテーマは長期休暇ですが、今まで取ったこともないし考えたこともありません。病気で療養したらそのまま長期休暇になるのですが、楽しい話ではありません。

先日医師会の勉強会で、秋田大学の山本悟教授の食道癌の話

早期発見のための内視鏡検査助成の話もされましたが、今日の朝日新聞に「胃がん内視鏡検査を推奨」とありました。

保健所長をやり、健診センターにも勤めていた私の同級生の友人から、「胃の透視で昨年見逃された食道癌が、今年の内視鏡検査で見つかり、抗癌剤、放射



ブルーインパルス六魂祭りハーサル（1機故障）

線で縮小、手術も成功した。来年の同期会で会おう」と電話があったのに、1年もたたない内に訃報が届きました。見舞いも告別式もことわられたので詳しいことは分かりませんが、早過ぎる死にびっくりしました。

私は毎年、医師国保の健診で大窪先生に胃の透視をしてもらってきました。数年前、今年から内視鏡にしようということで、

胃は毎年、大腸は2年に1回検査を受けていました。酒飲みは、癌の発生率が高いと知っていたからです。

一昨年の12月、バイオプシー（生検）をやられたので遂にきたかと覚悟を決めました。次週の大腸検査の時、食道癌と告知されました。早期なので昨年1月末に内視鏡で手術をしました。術後、痛風発作で苦しみました

が、2週間で退院、仕事に戻りました。症状がなかったもので、内視鏡検査でなかったらおそらく発見した時は手遅れで長期休業（廃業）だったでしょう。主治医の笹尾先生から、「運のいい人だ」とファックスをいただきました。

退院してから笹尾医院に行った時、酒飲みだからいずれ癌になると思っていたと言うと、職

員に「そんなに分かっているのになぜ酒をやめなかったのですか」と言われ、さすがに3ヵ月ほど禁酒しました。しかし、また元に戻ってしまっています。少しはセーブしようと思っかけているのですが。

以上の経験から、私のような酒飲みは、特に金を払ってでも内視鏡検査を受けるべきだと強く感じました。



「新任理事挨拶」

よしだ内科クリニック（男鹿市）

吉田賢志

昨年春より理事の1人に加えて頂いております。新任理事として一言挨拶を、と昨年末から編集長よりご指名がございましたが今日まで延びてしまいました。といいますのも今回の会報のテーマではありませんが、はからずも1か月余りの長期休暇を取るような出来事があったか

らです。

そもその始まりは昨年12月のことでした。雪道の小路で転んで頸髓を傷めてしまい、数日間、完全に四肢麻痺となりました。救急車で救急病院に搬送されそのまま入院。その後徐々に麻痺は改善されましたが、両手足の痺れが残りました。手術が

必要かどうかは1か月くらい経過を見てからのことでした。この時、男鹿界限では私が意識不明の重体で再起不能とのうわさが流れていたとのこと。なんともうわさとは恐ろしいもので…。しかし、その時は4日で退院、6日で復帰しました。

退院後も徐々に痺れの範囲が拡がり、再度転んだら今度は再起出来なくなるのではないかと不安な日々を過ごしていました。が、男鹿みなと市民病院院長、下間先生のご高配により秋田大学医学部整形外科教授、島田先生に御高診頂き手術を受けるこ

とになりました。

人生初の大手術の当日。妻は小学5年の娘に、自分の父親の手術の付き添いに行くかどうか聞いてくれましたが、「パパのことも心配だけど、今日の学校給食の春雨サラダを食べたいからパパには頑張ってって言うといい」とのこと。日ごろの愛情が足りないのか私は学校給食に負けてしまいました（もちろん学校が終わってからは見舞いに来てくれましたが）。

着替えをして車椅子に乗って手術場に下り、手術台に移って麻酔科医と少し会話をしたと思

つたら意識はすぐになくなっていました。テレビでよく見る「ひとっつ、ふたっつ」と数えることもなくあつという間に麻酔がかかり、気が付いたのは病室のベッドの上でした。手術後は、身動きが出来ないための首と背中筋の筋肉痛と下肢静脈血栓予防のための単調な圧縮空気ポンプの音のせい、それとも麻酔で2日は眠らなくても良いくらいしっかりと眠らされたせい

か、術後1日半、一睡も出来なかったのが一番辛かったです。その後の回復は順調で、手術後2週間くらいで退院し、退院後10日くらいで仕事に復帰しました。現在も定期的に診察を受け、リハビリに励んでいます。2回の入院に際しましては、医師会の先生方、男鹿みなど市民病院の先生方ならびに秋田大学医学部の同門の先生方には大変なご心配とご迷惑をおかけし

誠に申し訳ありませんでした。また、多大なるご協力を頂戴し本当にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。まだまだ未熟ものではございますが、医師会理事の仕事を通じて少しでも皆様にご恩返しが出来よう頑張りたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



東北六魂祭(5月31日)能代おなごり(9月12日)と比べてみよう



7月だ！ バカンスだ！

ハートインクリニック(潟上市)

佐々木 康雄

日本人の有給休暇消化率と脳の稼働率はおおよそ10%といわれている。そんな暮らしを長く続けていると、休暇や脳を存分に使いこなすこと自体を忘れてしまふ。「それが、今の、あなただ！」とある人に言われ、ドキ

ッとしたが、いざという時のために休暇や脳の90%を休ませておくのは私の美質かもしれない。1986年2月、「3月に湖東病院を退職し、4月から秋田大学で研修せよ」という辞令が県から届いた。自治医大の卒後研

修である。ところが辞令には日付がない。そこで教授に頭を下げた。「4月29日採用にして頂きたい」「なんでや?」「ちよっと欧州の医療事情を視察に…」「そやかて、義務年限に切れ目はないはずや」まあまあ…。

かくて4月1日から月末までフランスからスペインのサンチャゴ・デ・コンポステラまでずる休み1人旅である。起点のバリエで学生時代お世話になったオベール家を訪ねた。夫人は日本人画家、夫アンリはアルザス生

まれのエンジニア。アンリが言う。「君も医師になってバカンスは3か月? 6月に私も2か月のバカンスだが、前半は次の仕事で英国南極越冬隊なのでロンドンで勉強してくる。後半は旅行。いずれ10年と少し働けば悠々自適の年金暮らしだ」

嫌なことを聞いてしまった。日本の医師はバカンスどころではない。3月まで働いていた病院の上司は病氣療養の休暇取得手続きもせず、院長にも、ずる休みの私が言うのも変だが、そ



GAOのクラゲ

の私にも無断で蒸発し県外の病院に入院したくらいである。理由が病気で、忙しい現場を離れるのは敵前逃亡とみなされる風潮があった。

敵前逃亡といえば、「精神科医は超多忙企業の社員に易々と『休職を要す』なる診断書を発行しやがる。我々は仕事から簡単には逃げられない。何を考えているのか」という不満を耳にしたことがある。事前に職場担当者らと話し合い、配置転換や勤務時間短縮など環境調整をしたものの、社員の環境や精神面のもろさに無関心な会社も多く、

難しい。運よく休めても療養指導を怠ると、昼夜逆転など不規則な生活に陥り、却って病状が悪化することさえある。

昔、公務員の患者に要休職の診断書を出した。ある日、慌てた上司が来院し、「彼は夕方起きて夜はパチンコらしい。公務員があれでいいのかと付近住民から電話があった」という。すぐ患者を呼び出し、主治医の顔に泥を塗る気か、遊ぶならバレないようにと警告したが、ともかく、休めば「療養に専念する義務」が発生し、入院患者や学校の生徒と同じ「早寝早起き朝ごはん」は守らねばならぬ。「病は夜治る」のだ。

学生時代に見たフランスの病院の医師は朝8時に仕事を始めて、日曜も平日と同じ検査治療をしていた。だが彼らは優雅に昼食を楽しみ、午後には消え、夏はバカンス3か月。サラリーマンも繁忙期は1、2時間早く出勤し、午後4時の終業時刻は官民挙げて厳守。日本流の残業地獄はない。帰宅し家族とスポーツ

や散歩を楽しむ。さらにバカンスと定年後の年金暮らし……。

先月、東京鯨洲のマダム・オペール個展を訪ねた。「アンリは私のマネージャーをして家事も全部やってくれる。助かるわ」とマダムはニコニコしていた。

アンリの老後が思惑通りかどうか、怪しいが、働き中毒の日本人が頭の10%で休暇の90%利用を考えても世話はない。時は金なり……釈迦の耳に念仏、馬に説法……それにつけても時の欲しさよ。バカンスが欲しい。



「いい加減にしねえか、悪党ども」

大窪 天三幸

大窪胃腸科内科医院（五城目町）

大窪 天三幸

里見浩太朗主演『八百八町夢日記』にはいい科白が出てくるね。

「いい加減にしねえか、悪党ども。人の命を弄んだ貴様らに、もはや見る夢はないのだ」

さて今国会で安倍政権は与党推薦の憲法学者にさえ法案が違憲とされ、それでも国民を守るのは政府であり、憲法学者ではないと言いつける。中谷防衛大臣は後方支援する自衛隊員の安全

性は危険が増すのかどうかについて野党に攻められ国会答弁をコロコロ変える。最近では年金問題で年金加入者情報が漏えいし、まもなく始まるマイナンバー制度も怪しい。今でも5%しか使っていない住民基本台帳（住基ネット）をもとにして作成するという。しかも2700億円の初期投資と毎年の維持費200億円の予算だという。またまた無駄な借金が増えるだけだ。

国民が苦しんでいるのに、あたり前のように官僚たちは年金機構へ天下りだ。

「いい加減にしねえか、悪党ども。人の金を弄ぶ貴様らに、もはや見る夢はないのだ」。まさにＴＶ時代劇『八百八町夢日記』の科白のとおりだ。

先日国会の会期延長が決まった。国会会期を延長し、衆議院は与党が数で押し切り、参議院で決まらなければ「論議は尽くした」と国会法60日ルールに基づき、最後は強行採決だ。野党も国民もおれの意見を聞かない奴は「ざまあみろ」ということだ。安倍首相は祖父の岸信介元



長信田太鼓ライブ（6月14日）

首相の遺言（詳しくは知らぬが）を意地でも実現しようとしている。岸首相は満州国、関東軍の侵略拡大の一味であり、日本敗戦の予想がつくと、このまま軍部に近づいていると戦犯容疑も免れないと思ったかどうか、軍部からいち早く距離をおいたものだ（東条英機との対立が原因ともいわれるが）。戦後はＡ級戦犯として巣鴨プリズンに入れたが、自分であった椎名悦三郎らが岸の助命嘆願書をマッカーサーに出したり外部の子弟を使い、見事に乗り切った人物である（ものの本では出所が決まるまで、死刑宣告かとビビっていたという）。彼がやり残した部分をいま孫の安倍首相が多くの憲法学者や国民の多くが憲法違反と反対している安全保障法案と与党の数で押し通そうとしている。考えてみれば安倍首相の考えていることは極めて単純である。最終目的は祖父の岸元首相の夢（一般には説明しがたい）の実現である。それが国民の不利益になろうが、間違っていない。

うが関係ない。何があっても遺言通りやればいいのだ。彼はまづカモフラージュのためにアベノミクスで国民をだました。日本銀行に紙幣を増刷させ、市井に金を溢れさせ、また為替を円安にさせ、輸出業者が大儲けし、株価が上昇。このタイミングで一部の国民は給料が増え喜んだ（しかし増税が待っていた）。そしてそのほかに第3の矢、第4の矢もまだまだ自分にはあの手、この手があるぞと息巻いている。総理大臣というとてもない権力をバックにした日本一の詐欺師である。国の借金が1000兆円を超えたというのに知ったこっちゃあない。金が足りなきや増税だ。

それはともかくここまでは順風満帆であったが、どっこいである。先述のように先般憲法学者を国会招致したのが裏目に出た。安全保障法案は与党が推薦した学者先生までが、政府案は違憲と言ってしまった。往生際が悪く、与党案に賛成する憲法学者を重箱の隅をつつくよう

に躍起になって探した。菅官房長官は、俺は与党法案が合憲だという学者は何人も知っていると言った。話は飛ぶがこの男はまったく恥ずかしい男だ。秋田県人の面汚しだ。昨年のニュース番組、BSフジのLIVEプライムニュースで菅氏はサンフランシスコ講和条約で失閣諸島は日本に帰属するということが認められ、中国もその会議にいたはずだと言った。この年1951年は朝鮮戦争（1950年勃発）のさなかであり、北を中国、ソ連が、南はアメリカが応援していたこともあり、中国は招かれなかった。これは歴史の参考書や百科事典にも記載している。官房長官として彼は勉強不足と言って済まされるのだろうか。彼に歴史認識とか言葉にできるのだろうか。今年沖縄の米軍基地の辺野古移転について政府は粛々として政府案をすすめるのと繰り返し述べた。沖縄県知事が粛々とはゴリ押しかと怒った。菅氏は手のひらを返し謝った。昔漫才師が言

ったことを思い出す。金もいらなきや女もいらぬ、わたしやも少し背がほしい。歴史観もいらなきや国語力もいらぬ、わたしやも少し髪の毛がほしい。彼に合ったセリフかな。安倍総理も国会で野党の女性議員にヤジを飛ばして謝った。秋田弁に素晴

らしい言葉がある。間違ったら「さいつ」と頭を搔くのである。「さい、さい」がいいのか、「さいつ」がいいのかは論議の呼ぶところだが。まあいつか。

もう一度言いたい。「いい加減にしねえか、悪党ども」

最後にちよつと気になることがある。政府が再生エネルギーよりも結局は高くつく原発にこだわるのは何か。なるほど原子力発電の過程で出る余剰プルトニウムというのがあるらしい。政府はこれを原爆に応用するの

これでいつでも我が国は核武装ができる。しかしこれはやはり禁句というものだろう。くわばらくわばら……。結局今国会会期末はどうなっていることか。今こそ国民の出番だね。

日光から、こんにちは？ ～男鹿みなと病院 夢のウルトラ医局旅行～



男鹿みなと市民病院（男鹿市）
秋 元 正 年

山梨勝沼でワインを飲み買い漁り、富士を眺め白糸の滝に濡れて静岡に出たのが初日。2日

目は三保の松原で「暴れん坊將軍」気分を味わい清水の魚市場で土産を求め、バス移動のテレビでサッカー日本代表の試合に溜め息をつき、三島で特大鰻丼を食って何とか満たされ秋田へ戻ったのが昨年6月の医局旅行だった。解散間際に意見の山。「次は温泉」「減多に乗らない電車で」「この医局旅行もそう何度出られない」「アクセスが難しくめったに行けない所」「東京、仙台は個人で何度も行っているし、会津は3年前に行った……」かくてその1か月後、発案した松本先生、高木先生を中心に日光旅行の構想がまとまった。

平成27年6月20日朝9時、秋



雷 門

田空港集合。16名全員揃ったところで医局旅行が始まった。羽田空港着10時50分。貸し切りバスで浅草着11時20分。自由散策1時間。梅雨時特有の湿気と多

国籍化した観光客の熱気に気おされ体力を消耗し、12時半に浅草発鬼怒川温泉行き東武鉄道「特急きぬ117号スペース」に乗った。座席の向きを変えボ



特急スペース



見猿、言わ猿、聞か猿

ツクスシートにして「人形町今半 すき焼き弁当」とアルコー
ルが配給され小宴となる。
東京スカイツリーに見送られ
埼玉の街々、利根川を過ぎ、日
光の山並みが近づくとき空が暗く
なってきた。下今市でスパーシ
ア下車14時10分。冷たい小雨降
る東照宮には15時過ぎ到着。「日
光は東京スカイツリーとほぼ同
じ標高」というバスガイドの話
に納得。上着、傘、カメラを手
に、「見猿、言わ猿、聞か猿」に
迎えられる参拝客となる。かの
有名な「日暮の門」陽明門は、



陽明門はH31年まで工事中

平成31年3月までの改修工事中
で、見事なビニールシート姿。
さすがに凹んだが境内で集合写
真。唐門、眠り猫を見物し、息
切れしつつ石段を登って奥の院、
下って御本社、鳴き龍などと、
スパーシアで回った酔いも見所
満載の境内で醒めた。東照宮で
バスに乗り、本降りの中、鬼怒
川の畔に建つホテルヘチエック
イン17時30分。癖のない単純泉
で汗を流し、夕食となる。栃木
名産の湯葉鍋、豚しゃぶ、下野
の郷土料理「しもつかれ」風味
の味噌汁などを食し、地酒を酌

翌朝は雨も上がり、早めに目
覚めた方々は朝風呂のあと周囲
を散策。8時15分チエックアウト。
向かうは華厳の滝。すぐそ
この男体山は霧に隠れていた。
奥日光へ通じる「第2いろは坂」
を越えてもまだ霧の中。中禅寺

み交わした。その後は早めに休
んで疲れを癒したり、温泉に入
り直したり、マッサージを受け
たり、外の雑貨屋で酒、つまみ
を調達して飲み直したり、雀卓
を囲んだり、様々だった。



鬼怒川温泉にて

湖畔では辛うじて対岸の山並み
が見えたが、落差100メート
ルの華厳の滝は、無料で利用で
きる観瀑台でも轟音が耳を圧す
るばかりで全く姿が見えない。
それでも、「この機会を逃したら
もう見ることはない」とエレベ
ーター乗り場へ。そこにあった
モニターには終点の滝壺付近の
画像が映っていた。滝の全景が
うっすらと確認されたので全員
そこまで降り、水が流れ落ちる
滝を背景に記念撮影。
結局、男体山は拝めないまま



華厳の滝にて

「第1いろは坂」を下り、10時45分に日光金谷ホテルへ。明治6年に御雇い外国人を対象に創業されたこのホテルは、洋風建築ながらそばの東照宮を意識したような欄間彫刻などを織り交ぜ美術館さながらだった。買い物を済ませ、旅の最後の乾杯をして野菜ポタージュ、もちもちのパン、ニジマスソテー、ローストビーフ、デザートからなるランチメニューを頂く。その後、

バスは日光宇都宮道路を通って餃子の焦げた匂い漂う宇都宮へ向かう。同駅発13時30分のやまびこに乗り、仙台でこまちに乗り換え、17時10分に秋田駅に到着、解散となった。

以上が平成27年度の医局旅行全日程です。「日光を見ずして結構と言わなれ」と言われますが、ついに一度も日の光を見ることなく旅程を終えました。飛

行機、バス、電車、新幹線と乗り物も多彩で、浅草、スカイツリー、日光東照宮、華嚴の滝と普段の倍も歩き、ハードスケジュールながら怪我也事故もなく、心地よい筋肉痛を楽しみました。来年はどんな企画になるか、今からワクワクです。

〈感想〉半島の門前・五社堂にはナマハゲが夜を徹して999個も積み上げた石の階段がある。

みなと病院の医局旅行は昨年の富士山1周大旅行もそうだったが、まるでナマハゲの突貫仕事を思わせる強行軍だ。さすが男鹿の医師たちというか、正気の沙汰ではない。旅立ちの前々夜の勉強会で、日光へ行くのに飛行機を使うと聞いて耳を疑ったが、納得させられた。編集長が出した来年の医師会との合同旅行案は、ひとまず撤回する。命がいくつあっても足りない。⑦



私の苦手な患者さま

杉山病院（潟上市）

肥田野 文 夫



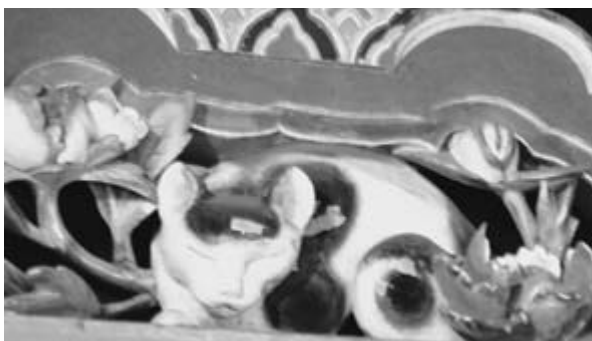
テレビCMで「わからないことあったら何でも聞いてね」に「人はなぜ生きるのでしょうか？」を目にしましたが、精神科では珍しくもなく「あ、自閉症」と1秒でわかります。「どちらにお勤め？」の質問に「個人情報で

すから…」も同じで、患者さんは「自分をすべてわかって欲しい」から来院されるはずで「言いたくない」のは発達障害その他です。そのような障害は私の臨床能力では対応不能で、どこにあるかはわかりませんが発達

障害の専門外来をおすすめして1分間の面接でお帰り頂きます。また、例えば家族の暴言・暴力や不適応についての相談では「来る所が違うのでは？」と首を傾げることもあります。暴力が数十年も続いています、と涙を浮かべながら語られますが、「どうして別れないのですか？」が自然ですね。すると返答も決まっています、別れるなら「殺してやる」「一生ストーカーになってやる」と脅されるので無理、なのです。「裁判所は？」「相談所

は？」「警察は？」にもいろいろわけがあつて自分で動けません（動きたくありません？）…は不思議です。

息子が引きこもりで口もきかないので自分が不眠、不安になつて…もよくあり、ではお薬を出しましょうね、に首を振られます。そしていずれも、何とか連れてくるのでその相手を「先生から説得してもらいたい」というのです。「いつも不安で脅えていて、食欲もなく夜も眠れない」のは相手のせいなので、そ



眠り猫（日光旅行記から）

れを懇々と説いてください、です。

クリニックは「自分の“心理的状況を何とかしたいから来る”ところで患者さんが少しでも楽になってくれればともちろん悩みは聞きますが、困っていない、例えばDVやゲームが生きがいで生活を絶対変えたくない方は対象外でしょう。

私は「人は他人の言うことには耳を貸さない」と信じて疑い

ませんので、不惑の年になったあたりから誰に対しても「説得」の類は一切した記憶はありません。統合失調症の興奮状態で入院が必要な時に形ばかりの「お願い」をする程度です。患者さまご本人でもない方にわざわざ来て頂いて逆上されでもしたら困りますし…。

人は都合のいいものですから「ことを荒だてず表に立たず自分が傷つかずに解決したい」のは仕方ないですが、「私が言ってもダメなので何とか先生から…」と勝手に描いたプラス思考物語に巻き込まれるのは異和感があります。誰かが期待どおりでないのは自分自身の問題で、「医療になんとか…」は方向が違います。

男女関係でも（仮に一瞬だとしても）一目惚れだったり、寂しさに負けたとすれば選択責任はあるでしょう。多分、生涯通じて自分が決められるのはそのくらいで、それをとっても大切に感じた瞬間（大錯覚ですが）もあるはず。人生は選択でき

る場面などほとんどなく、意のままにならない日常は認めたくなくともあきらかな現実です。不運な天災、事故、病は自分に落ち度がないのは当然ですが、

人間関係はやっぱり自分が選んだのです。ですから「病院は患者さんが来る場所ですよ」と伝えるのです。

理事会

（平成27年6月9日）
土崎ホテル大和

「とうとう理事会も地元で開けなくなりました」と神田会長の挨拶はやや悲痛。6月25日の定例総会に向けた準備理事会。各会員の業務分担等確認。5月末現在の会員総数は74名。開業会員29、勤務A会員6、勤務B会員36、敬老会員3である。

韓国で問題化しているMERS（中東呼吸器症候群）が流行した場合、男鹿みな

と市民病院で9床を用意するが、実際の対応にはまだ不明な面が多い。当医師会としては全面協力することを確認。介護認定の医師意見書で、特定疾患名の記載が必要な65歳以下の申請者に、疾病名の記載漏れがあった場合、審査会が斟酌して通すのは公文書偽造にあたる。部分的な書き直しを要請するよう事務方に連絡することを申し合わせた。

定例総会

(平成27年6月25日 午後7時 秋田市土崎ホテル大和)

5月31日現在の会員数74名に対し当日出席会員と委任状提出者の合計は35名で、出席率が70%に達し総会は成立と議長が宣言して総会は始まった。

神田仁会長挨拶「故佐々木宣明先生はかつて、医者というものは自由業ではなくて、不自由業だと会報に書いたことがあった。要するに全て規則に縛られて医者裁量というものとはどんな

どん狭められ、ほんとにイヤな世の中になってきている。ある規制を外そうとすると別の規制が山ほどかかってくる。医者をやっているのか、一般の事業をやっているのか分からない世の中だ。そんな中で、人に頼まれろと断れない会長として、会員の皆様には余計な仕事をお願いし、大変感謝している。総会の場をお借りして感謝を申し上げます。本日は昨年度決算と新年度事業案等について審議のほど、宜しく願いたい」

佐々木康



雄議長、児玉光副議長の進行により、白山公幸副会長から第1号議案の26年度会務事業報告、香曾我



部秀雄副会長から一般会計決算報告、千葉裕一・中鉢明彦監事から監査報告がなされ、総て承認された。続く27年度事業計画案、会費徴収規定案、一般会計予算案、会員業務分担案も、一部訂正はあったが承認された。医療と福祉を考える集いは五城目地区担当と決定。

続いて当医師会HP(ホームページ)についてメディアコンテンツの高橋氏より説明。まだトップページに会長挨拶が掲載さ

れておらず、更新担当者も決まっていない。こうした事情から県医師会に開設を届けておらず、県医HPからリンクできない。男鹿潟上南秋医師会にルビを振る、更新作業の担当者を選任することなどが話し合われた。

午後8時より懇親会。出席するはずだった浅利先生はとうとう現れず。会場を間違え、どうも天王温泉くらはへ行ってしまうらしい。9時半まで大いに盛り上がった。

新 人 紹 介 コ ー ナ ー



湖東厚生病院（八郎潟町）

鈴木 光哉



この6月1日より、湖東厚生病院内科・消化器科に勤務することとなりました、鈴木光哉と申します。

出身は東京都で、大学を卒業後、長崎県五島列島→三重県南端→兵庫県但馬地

方と、いわゆる東京から交通手段的に、遠いへき地を中心に回ってきました。

このたび、当院のような訪問診療も広くやられているタイプの病院は初めてですが、秋田県の医師不足がかなり深刻だとお聞きしたため、勤務させていただくこととなりました。

診療分野的には、ここ6年間は、内科系総合診療を中心にやってまいりました。総合診療科というと、なかなかイメージが湧きにくい印象はありますが、これまでの○○内科が、『まず病名をつけて、それから治療する科』とすれば、総合診療科は、『明確な病名がつかなくても、病態を生理学的に分析して治療する科』だと思います。治療法を、

『身に着け、こなす』ことも大事ですが、『考え、編み出す』ことの方がもっと大事です。今、この総合診療科にも、従来と同じ大学入試の延長のような試験をもとに、画一的な専門医資格が作られようとしています。それでまた、○○内科がひとつ増えるだけで、あまり意味がないと心配しております…。

ここで、私の趣味のひとつをお話させていただきますと、小学生のときに、祖父と、神奈川県小田原市にあります、後北条氏歴代の城である小田原城へ行って以来、城郭探訪が趣味になっています。歴史に登場する有名どころの城はほぼ歩いたと思っております。ただ、北東北では、12世紀末の奥州藤原氏の滅亡以降、大きな歴史の流れの中では、中央の歴史の転換につながるような大事件が、少なかったこともあり、秋田県内であれば、秋田市の久保田城、横手市

の横手城、後三年の役の金沢柵しか訪ねたことがありません。

湖東厚生病院のあります八郎潟町のお隣、五城目町にも、五城目城という城があり、本丸跡と思しきところに、天守閣風の林業博物館が立っていました。ここからは、五城目町が一望できて、四季の折々に訪ねてみたいと思っています。

ここで、本題に戻りますが、当院は、『秋田県で一番高齢者にやさしい病院』を目指しております。でも、それは、もう、そう遠くない将来、高齢者が多数を占める国になる日本の現実を考えれば、まさに、『県民が、自身を信任できる病院を目指す』のと同じことだと思います。上記のような総合診療的思考は、医療分野にとどまらず、様々な

分野で必要とされるものだと考えますので、湖東厚生病院が、将来、能代と秋田の中間地域の基幹中心病院として存続していけるようになって欲しいと願いながら、その基礎を作れるように頑張つてまいりたいと存じます。医師会の先生方には、今後いろいろ御世話になることも多いと思いますので、秋田県外からの外人部隊の医師ですが、今後とも、どうぞ宜しく御願い申し上げます。

(左の写真は、前任地にありました、今、全国的にも話題の『天空の城 竹田城』の雲海の写真です)



大学ではバレーボール部と写真部に所属しており、今でも写真を撮ることを趣味にしています。平成25年に大学を卒業した後は、岩手県立胆沢病院で初期研修を修了しました。初期研修では各専門科に加え、プライマリケアや救急対応、災害対応についても実践を交えながら学んで参りました。最初は何事も初めてであり余裕がありませんでしたが、先輩方に支えられ、同期の友人達と助け合いながら研修を終えることができました。

今年の4月からは、男鹿みなと市民病院で外科後期研修を受

けながら、乳腺専門医になることを目標として秋田大学病院胸部外科で乳腺と甲状腺の勉強をしております。いずれの病院でも、先生方やコメディカルの

方々から温かい御指導をいただいております、本当に感謝しております。

男鹿みなと市民病院に着任し

た際、院長から病院が取り組んで来た地域医療のさまざまな課題や成果についてうかがいました。この病院の職員の一人となったことに、身の引き締まる思いが致しました。地域の皆様に親しんでいただける医師になれるように、また、男鹿市の奨学生として学ばせていただいたことの恩返しができるように、自分ができることならどんなことでも取り組んで参りたいと思います。

これからも引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく御願い申し上げます。



男鹿みなと市民病院

(男鹿市)

高橋奈保子



男鹿みなと市民病院外科の高橋奈保子です。この度はこのような自己紹介の機会をいただきありがとうございます。

私は県南の湯沢市出身で、平成19年に横手高校理数科を卒業し、男鹿市の奨学金を受けながら秋田大学医学部で学びました。

COPD(慢性閉塞性呼吸器疾患)最新の治療

秋田厚生医療センター
呼吸器内科・診療部長

福井

伸 先生

日時▶平成27年4月16日(木)
場所▶土崎 ホテル大和

秋田県民の死因は上位から、がん、心疾患、肺炎で、COPD(慢性閉塞性呼吸器疾患)は男で7位、女は9位。喘息による死亡はステロイド吸入の普及で減少し、逆にCOPDによる死亡者数は増加し、喘息の8倍となった。

呼吸機能は50歳から自然に低下する。喫煙習慣が最大の原因だが、咳が少し増えたくらいでは自覚できない。2013年の喫煙率は秋田県の男が全国5位。女は増加傾向にあり14位で、30

代と40代に限れば全国3位である。

COPDは喫煙による慢性炎症性疾患で、末梢気道と肺胞が破壊される進行性疾患。診断には呼吸機能検査が必要だが、検査自体が面倒なため気軽に行えない。若い人の咳痰、高齢者の息切れが典型的な症状で、40歳以上・喫煙者・咳痰・息切れがあれば診断はほぼ間違いない。

治療の目的は狭窄した気道を拡げること。治療開始の目安は



長谷川幸保先生

QOL(生活の質)低下。治療効果は、呼吸機能の検査値改善よりも、苦しさや睡眠など自覚症状の改善で判定する。

2000年代に入り吸入薬が激増した。抗コリン薬と β_2 刺激薬の併用が有効で、最近は両者の合剤ウルティプロなど吸入薬が主流。特に症状の強い患者のQOL改善に役立つ。早期導入で息苦しさなどの症状を取る。

COPDは午前が最も症状が出やすい。次は夜。夜間に症状が強い場合は夕方投与など各々の

傾向から投与時刻と投与方法を決める。吸入用カプセルを誤って飲む人もおり、デバイス器具も多彩なので、実演指導など薬剤師と連携したフォローが大切。

症状が劇的に緩和すると治ったと思いきや薬剤を中断する患者がいる。続ける必要性を粘り強く説明する。COPDの急性増悪、チアノーゼなど低酸素状態では入院が必要なので、いつでも当院へご紹介いただきたい。

福井伸先生は秋田厚生医療センターの若手呼吸器内科医師。今年4月に診療部長に昇進された。ていねいで分かりやすい一般医向けのお話で、質疑応答に入っでちょうど45分。勤務後のお疲れ会員たちへの配慮がうかがえた。今年3月に日赤から同科へ赴任した医師歴4年目の長谷川幸保先生も同道し、懇親会で会員らと談笑していた。誠に心強い呼吸器ベアである。

(編)

『肥満合併糖尿病患者の新たな治療戦略』



秋田厚生医療センター
糖尿病・代謝内科科長

下斗米 孝之先生

日時▼平成27年5月21日
場所▼土崎 ホテル大和

秋田県は肥満が多い。メタボリックシンドロームのリスク保有率でみると男性・女性共に全国ワースト1位である。

①2型糖尿病の病態に応じた治療

基本的に肥満がある糖尿病の人にはビグアナイドが第1選択で用いられている。この薬は1960年代から使用されている薬だが、有効性が高く単剤では低血糖リスクはまずない。体重は増えないか、もしくは少し減ってくる。薬価は非常に安くコストパフォーマンスに優れている。チアゾリジンは肥満のない

人にはあまり効果がないが、ビグアナイドは肥満、やせ、中肉中背のいずれの人にも使用できるベースラインの薬である。

ビグアナイド単剤で肥満のある糖尿病の人のコントロールが困難な場合、2剤目として使うのはDPP-4阻害薬である。DPP-4阻害薬はBMI30未満では効果があるがBMI30を超えていると効果が低下するので基本的にはやせ型の人に投与する薬だが、肥満型の人にもインスリン分泌不全を一定の割合で持っているのでビグアナイドで効果が悪い場合は2剤目として投与している。

②血糖コントロール

ールの長期安定性を考えた治療

単剤で長期の血糖コントロールが比較的安定しているのはチアゾリジン、ビグアナイドで、SU剤はリバウンドが大きい。インクレチン関連薬はリバウンドが少ない。

肥満の糖尿病患者でインスリン抵抗性を解除しながら体重を減らして血糖管理を行っていく場合に血糖コントロールが安定しているのはビグアナイド・チアゾリジン・GLP-1受容体作動薬の3剤の組み合わせだが、GLP-1受容体作動薬は金銭的問題などあまり治療の継続率が良くない。そのような場合に体重を減らす薬として経口薬のSGLT2阻害薬をGLP-1受容体作動薬の代わりに3剤目として使



国宝 陽明門（4年後にはこの姿が）

えるのではないかと考えている。
③SGLT2阻害薬の効果と注意するポイント

一番大事なのは投与する対象を間違えないことである。年齢が若い、肥満がある、罹病期間が短い、大血管障害の既往がない、利尿薬が投与されていない、インスリンは投与されていない人が望ましい。SU薬は低血糖を起こさないよう最小限に減量することが必要である。

SGLT2阻害薬は効果の発現が速く2か月後には定常状態になるが、リバウンドもDPP-4阻害

薬よりも時期が早い（4か月から6か月）印象がある。

SGLT2阻害薬の効果としては血糖改善、血圧・脂質改善、肥満改善により長い目で見ると抗動脈硬化に働くと考えられる。

この薬を投与する上でいろいろな注意点が喚起されているが、特に注意しなければならないのはシックデイで、食事が摂れない時は速やかにSU薬、ビッグアナイドとともにSGLT2阻害薬を中止する必要がある。

④SGLT2阻害薬間で違いがあるのか？

SGLT2阻害薬の薬剤間では今のところそんなに大きな違いはない。ただし、SGLT2阻害薬を飲んでいてシックデイに具合が悪くなる人が結構いるので、シックデイの時に短時間作用型の薬剤はリカバーが楽になる可能性があると思われる。

記事 吉田賢志

ワンポイント

アドバイス⑩



あらほの先生から一言
（難聴と認知症編）

質問

63才男性。最近、右耳の聴こえが悪くなってきました。新聞、雑誌に3万円前後の補聴器の広告をよく見かけますが、難聴、補聴器を使い始める時期および耳鼻科で紹介される補聴器との違いについてよろしく。

指南役

男鹿みなと市民病院（男鹿市）
耳鼻咽喉科 松本 敏江 先生

答え

なかなかお答えしがいのある質問ですが、詳しく述べるには紙面が足りませんことをまず

予めお赦しください。

補聴器とは薬事法に定められた管理医療機器であり、個別の製品ごとに厚生労働省から正式な認定を受けなければ製造・販売できませんし、販売や広告宣伝にも制約があります。

そのことから考えれば、質問者のかたが指しているマスメディアで宣伝されている安価なもの、補聴器ではなくて助聴器や集音器の範疇にあるものだと思います。

補聴器には聴力の低下した人が使うことを前提にした様々な機能が備わっていますし、使う人の聴こえやライフスタイルに合わせて専門の技術者が調整・設定するものです。価格にはその後のアフターサービスの分も含まれていると考えてください。

通信販売でも買えてしまう集音器にはそれらがありませんし、オーダーメイドではないので、私は「補聴器はちゃんと検眼して作ったあなた専用のメガネ、

集音器は役場や銀行の記入台に置いてある老眼鏡のようなものです」と説明しています。

そんな集音器でも使うと十分に役に立つくらい聴こえの人は、もちろん使っているのですが、もっと難聴の進んだ人なら補聴器でないと役に立たないでしょう。

それよりも、私は言いたいのです。「自分の聴こえに自信のなくなってきた人は、まず医師の診察を受けてください」と。質問者のかたも、ぜひ億劫がらずに受診してくださいね（気持ち的に億劫だということは私も重々承知しておりますが）。



日光旅行へ向かう秋田空港にて

診察によって、隠れていた事実が明らかになることもありま
す。実は鼓膜に穴があいていた
とか、より聴こえないと思い込
んでいたほうの耳が良い耳であ
ったとか、聴神経に腫瘍ができ
ていたとか。診察の結果によっ
ては聴こえを良くする治療が見
つかるかもしれません。

補聴を開始する適期は、医師
から見ての「そろそろ」もあり
ますが、やはりご本人が「日常
生活に不便を感じたとき」だと
思います。馬に水を飲ませよう

として水辺に連れて行っても、
馬に水を飲む気がなければ失敗
に終わりますよね。当外来に補
聴を考えて受診されるかたには、
「自分はまだ要らないと思うが家
族に懇願されて来た」という年
配のかたが多くおられます。そ
れだけご家族のほうが不便な会
話に我慢をしていたということ
でしょう。

難聴と認知症の関係について
はまだ何も言われていません
(そもそも認知症についてまだよ
くわかっていないのが理由だと

思います)が、私は直接関係な
いと考えています。難聴だから
認知症になりやすいというものも
正しくないし、認知症があれば
理解力が低下し反応も遅くなる
ために「聴こえていない」と誤
解されることがあるのではない
かと思います。そんな時でも悪
口だけはしっかり聴こえている
かもしれないので、お互い気を
つけましょう。

他の人との会話によるコミュ
ニケーションが活発な人は、認
知症になりにくいという説を聞
いたことがあります。ですから
難聴のために他者との会話が非
常に困難だとか楽しくないとか
いうような状況は避けたいと思
うのです。男性のみなさんには
ややもすると疎まれる女性の井
戸端会議にも、ちゃんと効用が
あるのですよ。

以上の拙文で物足りないと思
じられた読者のかたは、どうぞ
お気軽に男鹿みなと病院耳鼻咽
喉科まで足をお運びくださいね。

ふんふんコラム

狸からベコへ？

秋田道・北一〇付近に進出した
「イオン」の野望。秋田市中心
部の商店街は反対、外旭川地区振
興会は賛成と、事態は混戦模様で
ある。

「一万、「なかいち」に投じる多額
の税はドブに捨てるようなものだ
から、あれは「ごぶいち」だと街の
雀たちは揶揄する。逃げた女房と
客は帰らないというが、確かに何
かイベントでもないかと閑古鳥が鳴
き、そもそもふんだんから子供たち
の姿が見えない。美術館と広場と
T食堂には子供を寄せ付けぬ妖
怪が棲むという者まで出てきた。

どうやらイオンは物売りから脱
却し、スポーツと健康と医療福祉
文化と農業と子供をテーマに新た
な街を創る魂胆らしい。県と市の
不成功事例の羅列にも見える。

イオンの成功例(？)御所野では、
新イオン完成で男鹿南秋からの客
が消え狸穴(まみあな)に戻るこ
心配する声がある。外旭川をやめ
て潟上市ベコ坂周辺にどうぞとい
う噂もある。国の地方創生・老人
移住計画の「秋田市周辺」は、我
が医師会地区そのもの。面白くな
ってきた。
(ふんふんがし)

図 1 人工聴覚器と聴力再生法のいろいろ

- 集音器・気導補聴器
- 骨導補聴器
- 埋め込み型補聴器
- 人工中耳
- 人工内耳
- 脳幹刺激装置
- 再生医療

歴史的経緯では、補聴器→人工内耳→人工中耳



図 2 気導補聴器



私のおすすめ



還暦過ぎの方に、ペットは「猫」をお勧めします

介護老人保健施設 湖東老健（五城目町）
施設長 齋 藤 晴 樹

猫ブーム再来か、岩合氏写真展「ネコライオン」が開催され、ペット関連本も多いので、（獣）医学的に気になる事項を羅列してみた。ペットに興味のない方や犬派の方は何卒お許し下さい。

1) 猫背・頸胸椎がヒトより3個多く背中が長い。韌帯も柔軟で「香箱座り」や「ニャンモナイト」（丸い寝姿）が可能。

2) 猫手・肉球の汗腺で体温調整。

3) ヒゲと鎖骨・ヒゲがセンサー。夜間も空間把握可能。鎖骨が小さいので狭い隙間に入る。

4) 人生70%が睡眠時間…よく眠る子猫では睡眠中に成長ホルモン分泌。

5) 心臓発作や脳卒中リスク…3分の1減。

6) 「ゴロゴロ」喉鳴り…母子の連絡以外に周波数研究で鎮痛作用、骨生成刺激・形成促進作用ありかなどなど。

五城目町の鳥獣保護センターは鳥獣保護から自然に戻すまでが業務で、ペット専門施設は県内になかったが、6月議会で知

事は「動物愛護センター（仮称）開設（2020年度）の前倒しを検討」と、愛護促進を強調された。

折しも同月

26日の朝日新聞「天声人語」で、猫の3話を紹介。

1 話目は陸游の漢詩「猫に贈る」。裏鹽迎得小狸奴 盡護山房 萬卷書 慚愧家貧策勦薄 寒無氈坐食無魚（塩をお礼に狸奴へ猫の愛称）を迎え、鼠から書を守ってくれるが、貧しくて功績に比べられない、寒くても暖かい毛氈もなく、魚を出すこともままならない。蔵書を鼠から守る猫に魚も出せず恥ずかしいとの詩に、ほのぼのと。2 話目は和歌山電鉄「たま」駅長の計報。貴志駅は乗客急増、写真集や取材でストレスだったろうが、16



猫背のミミー

歳は人間で80歳、天寿全う。3話目は寺田寅彦が愛猫の死に自ら童話を作詞・作曲。

三毛のお墓に雪がふる／こんこん小窓に雪がふる／炬燵布団の紅も／三毛がいないでさびしいな

最後は「人間との関わりで不幸が決まる現実には、心痛なしとしない」と結んだ。

私も家内も子供の頃から犬と暮らしてきたが、最近猫の面白い面も見えてきたので、還暦過ぎて新しくペットを考えている方に「犬」との比較で「猫」をお勧めする。理由は

1) 寿命…私の健康寿命はあと10年。主人より寿命の短いペットは猫。

2) 散歩…風雪の日でも犬に必要。引かれて転倒の危険。猫は散歩自体不要。

3) 狂犬病…犬は毎年届出と予防接種。

4) トイレしつけ…犬は時に場所を守れず処理も大変。猫容易。

5) 欠点…感情表現が少なく尻尾振りも緩徐(逆に魅力?)、引く掻く(壁・カーテン・手)、番猫になれず何か啜えて帰宅。

我が家のペット歴は20年前に頂いた雑種の雄犬から始まる。成長後は庭に小屋を置き、夏屋外・冬室内の生活だったが、小学生の娘が校庭の砂場から子猫2匹の入ったダンボールを持ってきた。真っ黒な兄猫と白毛の妹猫。先輩犬は様子を窺い「クンクン」嗅ごうと鼻先を突き出

した途端に引く掻かれ、以来すっかり怖気づき同居不能と判明。仕方なく冬は室内のケージに犬が入る隔離同居となる。14歳頃から徘徊。自慢の嗅覚・視力も衰え、ある日リードごと行方不明に。

後は残った猫の天下で自由気ままな生活だったが、最初に兄が尿路感染で動けなくなり、私の皮下点滴の真似事も効なく朝にタオル上で硬くなっていた。妹はその2年後に糖尿病悪化が原因で入退院後に旅立った。

犬の散歩も滞り、猫の看取りも記憶に新しいので、もうペットは飼わないと夫婦で確認し、家内は替わりに、枕に転用できる「ぬいぐるみ」を私にあげた。しかし子供達が社会に出た後の二人暮らしはやはり物足りず、昨年7月に知人からキジトラの雌猫を頂いた。1匹だと寂しがる(?)と家内に言うのと、もうとても2匹は飼えないと

(男は無責任です)。耳が大きいので「ミミー」と命名。顔も知らない先輩猫2匹の眠る庭を、1匹静かに窓から眺めている様子は少し物悲しく、「2匹貰えば

良かった?」と思いつつ「猫じやらし」のニュータイプを購入して、いつもより早く帰宅する昨今です。

今日の診察室から ②7



加藤診療所
(男鹿市)

加藤 一磨

光と緑と土と縁側で

診療所に通院しているが、特に苦しいところはなくなった。あのころの頭の不快感、ふらつきは何だったのだらう。もう苦しくないのです薬はいらない、来

る必要もないと思っているが、医師は、悪くなったら来るんじゃないくて、悪くなくても来るように、薬はやめないほうがいいと言っている。年に1回脳の検査を受けているが今のところ変わりない、と。言う通りになっているから変わりないのかなと思うことにしている。

加藤診療所は「ごめんください」と声をだすと戸が開く。広い土間があり、踏み台があり、あがり框^{かまち}が見え、昔の田舎の家みたいだ。笑顔の姉さんがたの受け付けを挟んで両側に幅広の長い廊下が見える。

いつも患者が少ないので、貸し切りの旅館みたいでどこでも



好きなどころを陣取れる。

呼ばれるまで、この広い縁側で、南の窓からの優しい光に包まれてソファーに体をあずけ、ぼんやりと外を眺めている。診察室はこの縁側廊下の壁の向こうにあり、厚いガラスのしきりに白い和紙のカーテンが降りて、何も聞こえない。

子供の頃は、縁側でいると近所の人が、「えだがー」と来て縁側の板の間に腰をおろして茶、

漬け物、菓子を食べながらよも

やま話をしていた。コップ酒をのんでいることもあったなあ。鉢に盛られた漬け物を野良仕事後の手でつまんで食べていた。

「雅香」^{がっこ}を噛む音が聞こえた。縁

側は外でも内でもない気安く出入りできる所であり、気楽な情報交換の場であった。天気の良い日は濡れ縁がそれに変わる。

今は、縁側、濡れ縁のある家は見なくなった。

こうして外の景色に目をやると様々な感慨に駆られるが、いつも決まって目の前に現れるのは、少年の頃、村の畑や林や土手を走り回って遊んだ子供ら、せっせと鋤をかけて作物の手入れをする百姓の姿、畑のゆるやかな煙である。とつくに死んでしまったが、親は一生懸命働いていたなあ。今、目の前にひろがる木々、その緑の葉のそよぎ、きらめき、畑、土手をみていると、自分が自然と一体になったような安らぎを覚える。

ふっと目が覚めた。うたた寝をしていたようだ。鳥のさえずりが聞こえる、あつ、だれか畑にいる。何か掘っている。ところ芋かな。「芋折^おだるなよ」あれはかなりのばあさんだな。あの腰でよくやるもんだ。大したもんだ。そばで猫が遊んでいる。こんな畑で気ままに寝転がる猫も幸せだ。なかなか馴^なつきがい

だ。あのあのおおした蓮みたいな野菜はなんだ。あちこちに立つ木は梅か。今度降りて行ってみるか。

ああ、呼ばれたな。ずいぶん待たされたような。でも気晴らしはできた。今日も、手足動かして、聞かれるな、今日はなんぼにちだ、毎日体操せ、頭使えとか。頭使うというのはいろいろ関心をもって、読んだり見たり聞いたり、会話し、楽しむことだ。せっかくの人生、楽しまなきやもつたいない。じゃ、行くか。

次は、津谷裕之先生お願いします。



たき火を継がむ前に 終わりぬ 井上修一先生のこと

編集長 佐々木 康 雄



故 井上 修一 先生

平成26年師走に井上先生が逝去された。享年82歳。私が秋田大学第1内科に入局した昭和45年当時、増田教授は病氣療養中で、井上助教授が第1内科と手形の保健管理センター長を兼務されていた。先生の苦勞は関連病院への医師派遣のようで、若

葉マークの私なども朝出勤すると、「急で済まないけど、ちょっと小坂（鉾山病院）に行つてくれないか」といった按配で、湖東、田沢湖、阿仁、男鹿など色々な病院へ行かされた。前日ではなく、当日朝なので油断な

らな。若手医師らは「家出カバン」と称する非常持ち出しバックを医局に常備していた。

ある日、雄勝中央病院（当時は湯沢駅から徒歩10分）の帰りに、たまたま同院を訪れていた先生と帰りの電車で同席した。「僕は若いころ文



十六番 千手観世音（三種町房住山）

学部に行きたかった。学生時代は精神科に興味があった。でもいろんな事情で1内にいる。創作より文学作品を研究したかった」と語っておられた。

秋田大学を定年退官後、当医師会に入会され、会報にも何度か原稿を頂いた。秋田医報にも時々投稿され、拝読する度に湯沢の帰りに伺った「文学部に…」という言葉を思い出した。

今年の秋田医報「新春随想号」に先生の『戦争の記憶』が載っ

ている。斉藤茂吉の「声低き帰還兵士の物語 たき火を継がむ前に終わりぬ」を引用されている。秋田医報の発行・投稿日からして、先生の絶筆か。日本文学に造詣が深く、中でも短歌にお詳しかった。同じ医師会に所属しながら聲咳に接する機会も少ないまま、たき火を継がむ前にお別れとなつてしまった。悔やまれる。声低き帰還兵として先生は黄泉の国へ旅立たれたに違いない。ご冥福をお祈りする。

ナイト キャップ

シャクルトンの秘宝



「求む男子。至難の旅。僅かな報酬。極寒。暗黒の長い日々。絶えざる危険。生還の保証無し。成功の暁には名誉と賞賛を得る」

イギリスの探検家、アーネスト・シャクルトンが、1900年以上前に南極探検の前に出した募集広告といわれている。

これを見て胸を躍らせないようなら男の子じゃない。これっぽっちも心が動かないなら、男の子を廃業した方がいい。

実際に5000人以上の応募があったとも言われる。彼は4度南極に挑戦した。極点到達はアムンゼンに譲ったものの、一度は1年8カ月南極海を漂流するという困難に見舞われながら隊員全員を生還させ、そのリーダーシップは高く評価されている。

2010年、そのシャクルトン隊の小屋の下から木箱が5つ

発見された。木箱にはマッキンレーの文字。2つにはブランドンが、3つにはウイスキーが入っていた。永久凍土の中で箱はすっかり凍っていたが、ウイスキーは凍っていないかったという。ラベルにはハイランドモルトの記載があり、出発前の注文票から中身は10年もののブレンデッドウイスキーと考えられた。

ニュージークランドのカンタベリー博物館で、木箱は変質しないように数週間をかけてゆっくりと解凍された。1ダース入りの箱の中には紙とわらで包まれたウイスキーが11本。

このウイスキーの中身を分析、現代のウイスキーを組み合わせて再現するプロジェクトがスタートした。数カ月の試行錯誤の末にマッキンレー・レア・オールド・ハイランド・モルト・ウイスキーが完成した。

先日、「ニッカの『余市』、『宮

城峽』販売中止」のニュースに慌てて入った近所の酒屋でこのウイスキーを偶然見つけた。早速おじさん仲間と飲んでみた。

「おう、いいね」「これが南極の味」「当時の数あるウイスキーの中からこの酒を選んだってことだな」「持って行くのは1種類だけ。悩んだだろうな」「こいつを選んだのが分かる気がするね」「100年前も今も、旨いと思う酒は変わらないってことだな」

シャクルトンはこのウイスキーを25箱注文したという。25ダース、300本、ちよつと多い(？)、他にブランドーも…かなりの酒好きうう？

「そもそも南極行きの荷物としてウイスキーをリストアップしたってことだよな」「そりゃ、やっぱり男の冒険には美味しい酒が必要だろう」「男が安楽な生活に背を向けて旅立つ時に

はウイスキーは必需品なんだよ」「ジュリーも歌ってたじゃないか。片手にピストル、心に花束、唇に火の酒、背中に人生を、って」「酒だけじゃ足りないんだよな。心に花束」「宇宙戦艦ヤマトだな。旅立つ男の胸には、ロマンのかけらが欲しいのさ……」

人生の荒波の中、航海を続けるおじさん達にも旨いウイスキーは必要だ。そして、もしかしたらロマンのかけらも???

ところで、木箱の中の11本中、1本は中身が減っていた。博物館のチームは、探検隊の誰かがこっそり飲んで箱に戻したんじゃないかと考えているらしい。酒好きの性は今も昔も変わらない。

〈酔〉

編集後記



あっちこっちやたらさざるメガソーラー。ついに田沢湖住民から「目障りだ」と建設反対の声が上がった。ベコ坂、船越・天王ライン然り、乱立する風車もまた然り。おかげで利用者の負担も増える自然エネルギー施設は何か態度も矛盾も大きい▼矛盾と言えば医薬分業もそう。門前薬局を半ば推進しておきながら、複数の医療機関を受診する人はかかりつけ薬局を



西日に背をそむける？ ベコ坂メガソーラー

1つにしなさいと言う。正論だけに性質が悪い。いかん。冒頭からこれではまた血を吐きかねない▼今号も会員多数から玉稿を賜り、編集長の胃もたれも少なかった。感謝。齊藤朋紀先生のカカス夢の夢は四国お遍路と沖縄自転車旅。いつの日か幼い息子さんと実現できますように。笹尾先生の長い休みと戦争のお話は酒席で何度か伺ったが、今回改めて文章にして頂いた。浅利先生のがんと酒も耳タコである▼吉田先生の新任理事ご挨拶は闘病記となった。とにかくあの転倒事故も編集長としては同病相哀れむ、不幸中の幸いと言わねばならない。団塊と安保世代の大窪先生、「ちよつと過激かな。掲載できる？」と心配顔だったが、今なお旺盛な反骨精神は「買い」。精神科医は特別な耳を持っている訳じゃないと言いたげな肥田野先生の舌鋒も健在▼湯沢美人の研修医、高橋奈保子先生の清楚な自己紹介は、男鹿市民だけでなく私た

ち会員にも励みになる。半島から飛び出し医師会活動にもどんなに参加して頂きたい。医師不足の湖東に現れたサムライ、鈴木光哉先生は笹尾先生と同じ慶応ボーイだ。五城目城の西にある八郎潟町の古城跡浦城にもどうぞ。「秋田県で一番」の中鉢理念が体感できます。浦城祭は9月13日▼月1回の生涯教育講座は会員各々の専門料を超えた、日常診療にすぐに役立つ内容で、講師の先生方には改めて感謝申し上げます▼「補聴器を外し自分の殻に住む」……松本敏江先生の補聴器アドバイスは、難聴老人が激増する今、生活習慣病以上に啓蒙活動が必要と感じた。斎藤晴樹先生の犬猫談義も同様。少子化・ペット増社会はもう始



ペットと共生の時代

まっている。切ない覚悟「会うは別れの始めなり」も必要だ▼3月の「医療を考える集い」で講師をお願いした水野京子先生率いる「長信田太鼓」ライブが6月14日、三種町山本ふるさと文化館にて。不登校・引きこもり集団のパワー炸裂。団結と達成。とにかく凄まじかった▼5月1日、八郎潟駅前に「はちパル」オープン。目指すは、つどいにぎわいなど盛り沢山だが、早くも子育て支援ホールは大盛



長信田太鼓



はちパル

況、喫茶どんぐりも図書館も人気である。傑作なのが交流ホール。道路側壁面はまるごとはずれ、屋内外を通じた巨大イベント会場に变身する。来る8月17日、一日市盆踊り前夜祭で私たちサンバチームも登場予定▼W杯決勝で米国に敗れた「なでしこジャパン」、実に立派だった。やっぱり日本は女子力だ！ということで次回78号は10月予定。乞うご期待。

(編集長・佐々木康雄)

表紙写真

暮れなずむ男鹿の山々
佐々木かなえ(千葉克介写真教室)

左手の男鹿真山・本山と、右手の寒風山の間にゆるりと沈みゆく夕日。撮影した7月6日、出戸浜海岸の日没は19時11分でした。

寒風山は世界三景の1つだそうです。スマホで残りを調べたら米国のグランドキャニオン

とノルウェーのフィヨルドとあつたのでびっくり。三景と命名した地理学者・滋賀重昂博士はどこま



出戸浜海水浴場の海の家



著者

で本気だったのでしよう。狂乱吼えたつ男鹿半島よ、で、ま、いいか。皆様、海の家で冷たいビールなどいかが？

お便りは 〒018-1401

医師会メールアドレス

info@oknmed.jp
潟上市昭和太保字町後173-42
ハートインクリニック 佐々木 康雄